

子どもたちのため、地域のため
新しい居場所を作りたい

地域の皆様と共に

社会福祉法人 六踏園

調布学園・第二調布学園

〒182-0033 東京都調布市富士見町3-18-1
電話: 042-483-7611



本冊子は認定NPO法人 サービスグラントの
支援により作成いたしました

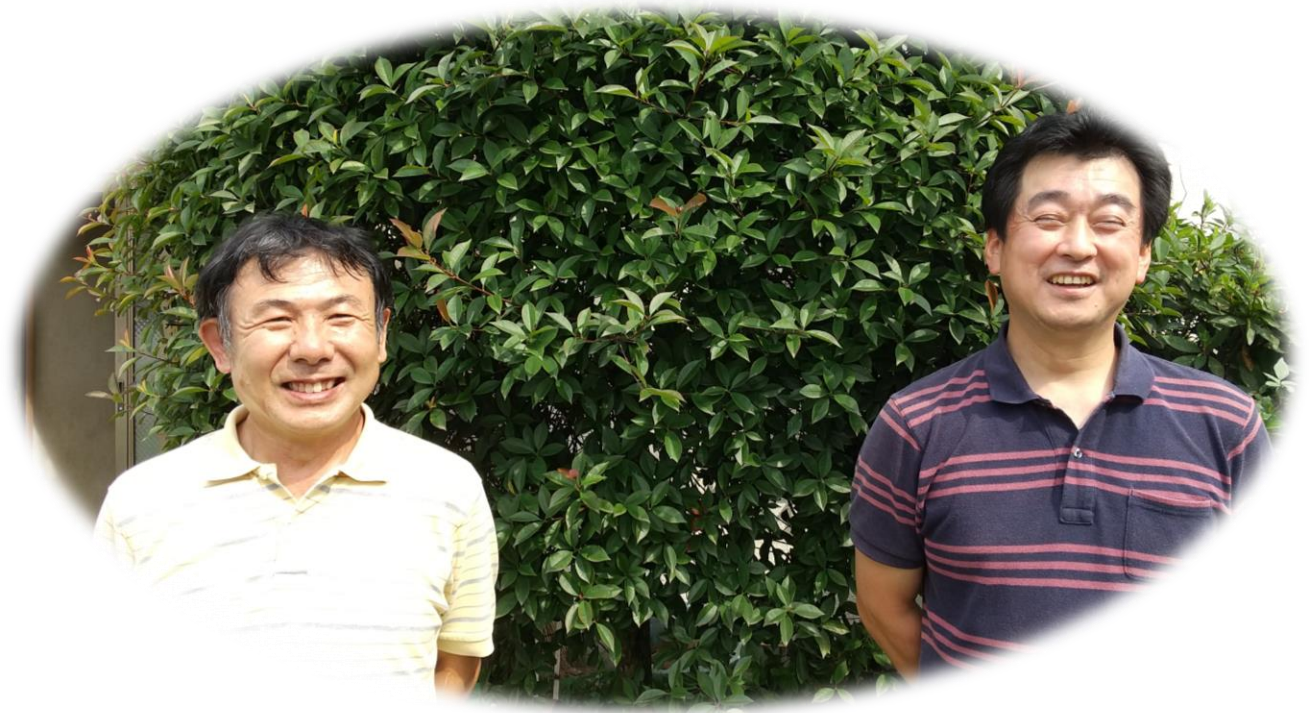


地域の皆さまへ

子どもの夢が叶う社会、子どもが社会の宝
といえる社会の実現にむけて、わたしたち
児童養護施設と一緒に歩んでいただける
協力者を探しています。

調布学園 園長 遠田 滋(右)

第二調布学園 園長 杉浦 準一(左)



「福祉×企業」「福祉×地域」を子どもたちのために。
新たな協力者と連携し、もっと地域に根差したい。
調布学園は、新たなチャレンジを始めます。

児童養護施設とは

児童養護施設とは、様々な理由で家族と暮らすことができない子ども達のための「お家」です。

私たち職員も子ども達と共に生活しながら子ども達の成長を見守っています。
2歳から18歳までの子ども達が生活し、施設から地域の幼稚園や小中学校等に通っています。



私たちがめざす児童養護施設

①すべての子ども達の笑顔あふれる生活をめざします！

調布学園に入所してきた子ども達一人ひとりが、自分の将来に自信や希望が持って人生を楽しめるように支援していきます。
日々の何気ない会話を大切に、子ども達の笑顔あふれる学園をめざします！

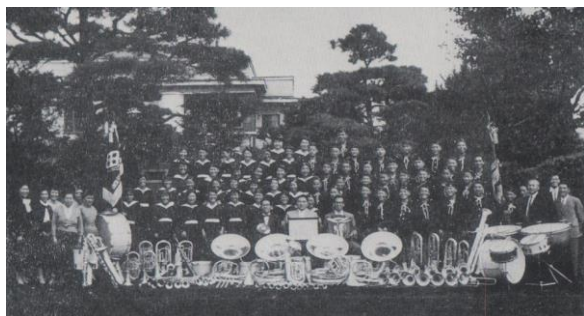
②地域の皆さんに「調布学園があって良かった」 そう思ってもらえる施設をめざします！

地域の方に支えられて子ども達が成長しているからこそ、私たちも地域に貢献したい。
子育て世代はもちろん、多世代交流の場となれるよう、地域コミュニティの拠点として地域に根差していくことをめざします！



調布学園の歩み

大正14年に設立し、昭和23年児童福祉法による児童養護施設として発足、今日まで子どものために、地域の皆さまとともに歩んできました。



95年、挑戦の歴史

設立以来、「陽気ぐらし」の精神で、家庭に恵まれない子どもたちの健全育成のために、制度がないから諦めるのではなく、様々な方の支えをいただきながら、先駆的な取り組みを続けてきました。

子どもを真ん中に、地域と育ちあってきた長い実績があります。
制度ができる前から、数々の挑戦を続けてきた文化が誇りです。

2千人の園生を真ん中に

卒園生は、およそ2千人。調布市内をはじめ、世界中で活躍しています。子どもを中心に、人材育成に取り組むなかで、職員、ボランティアや地域の皆さまと一緒に育ちあいを重ねてきました。

沿革

- | | |
|-------|--|
| 大正14年 | 司法保護団体として青少年のために「調布農場」を設立 |
| 昭和22年 | 調布農場から調布学園と改称、戦争孤児・引き上げ孤児・浮浪児を収容 |
| 昭和23年 | 児童福祉法による児童養護施設「財団法人六踏園調布学園」として認可 定員100名 |
| 昭和27年 | 社会福祉法人六踏園として認可される |
| 昭和47年 | 都の養育家庭制度発足と同時にセンター事業開始（～平成14年） |
| 昭和55年 | 制度に先駆けて「グループホーム」を開設 |
| 昭和60年 | グループホームの認可を受ける |
| 平成4年 | 都内の児童養護施設で初となる「子どもショートステイ事業」（調布市）を開始 |
| 平成21年 | 施設化に伴い
・「調布学園」定員変更88名
・「第二調布学園」を児童養護施設として認可 定員30名
・稲城市からもショートステイ事業を受託 |
| 平成22年 | 品川景德学園の運営を東京都より移譲される |

子ども達の成長

左から七五三→中学校入学→18歳卒園後も子どもの誕生や結婚
就職等々、子どもへの支援は続いていきます。



子どもたちの成長・社会的自立のために
途切れない支援を行っていきます。

調布学園のいま

● 地域とともに歩む学園

調布学園には、様々な背景をもつ子どもたちが生活しています。子どもたちが元気で明るく平和に過ごせるよう、日々知恵を絞り、多くの方の力をお借りして、精一杯努力を続けています。特に、地域の皆さまには多大な支援をいただいています。

年中行事



学園では、花見や月見、海行事、地域にも開放している盆踊り、クリスマスや正月など、年間を通して様々なイベントを用意しています。

子どもたちの様子



学園は子どもたちにとって、あたたかな家庭でありたい。職員は親のように、子どもたちは兄弟のような関わりを果たすことで、安心して過ごせる環境を確保しようと努めています。

地域に支えられ



多くのボランティアの方々が、子どもたちと関わって下さっています。食事を一緒に食べたり、遊びや勉強のお相手をしていただくなど、子どもたちの良き相談相手となってくださっています。

子どもたち一人一人の健全育成のために、地域の方に支えられ、
最適な環境づくりと最善の努力を続けています。

子どもたちのために

● 心身共に健全に、立派な社会人として、社会に巣立つことが出来るように

東京都の児童養護施設の子どもたちの大学進学状況は平成30年時点で44.3%と、ここ数年で増加傾向にはありますが、東京都平均83.4%に比べるとまだまだ低い現状です。その原因はかつて子どもたちが置かれていた環境や習慣、社会的経験の少なさにもあります。健全な成長のため、子どもたちに社会的経験を積ませることを重視しています。

マンツーマンで
ゆっくりと

+

子どもたちに
出会いや体験を



一人一人の子どもたちとゆったりとマンツーマンで向き合うことが健全な成長には不可欠です。多くの子どもたちをケアする上で、地域のボランティアの方々のご助力に支えられています。一方で外の社会とつながること、めざすべき人と出会うことから、子どもたちは夢を見つけ、自信をつけることにつながります。

子どもたちが社会で育てられることにより、可能性がまだまだ広がるはず。
調布学園だけでなく、地域の企業・団体のみなさまとのつながりの場として
地域交流棟を新設し、子どもたちのための新たな取り組みを模索していきます。

調布学園がめざす地域連携のビジョン

地域の
皆さま

×

調布学園

地域に開かれた 場の提供

地域の企業の皆さま、団体のみなさまに活用いただける開かれた場を提供し、地域の発展に貢献します。また、地域との交流の増加を通じ、入所している子どもたちに多様な経験を提供し、社会性を醸成します。

子育てに苦慮する 家庭を支え、虐待の予防を

地域から孤立する家庭、貧困やひとり親の家庭などをサポートし、子育て力向上を通じて虐待等の問題を未然に防ぐ、予防的福祉を推し進めます。

全ての子どもに 学習の場を

家族の状況、所得などの問題から、生活環境に課題のある子どもが地域にいる中、十分な学習の場を提供し、子どもたちの健やかな成長に寄与します。

孤立化する高齢者に 集まれる場所を

調布学園の位置する富士見町は調布市内2番目の高齢化率となっており、独居世帯の孤立化などの問題に直面しています。地域と連携した取り組みにより、高齢者が地域とのかかわりを持てる環境を提供し、課題を解決していきます。

地域連携ネットワーク化を推し進め、
さらなる地域福祉の強化に貢献していきます。

調布学園 次の100年に向けて 地域交流棟を建設します

今後の構想

調布学園では創立100周年を記念し、2021年末に向けて、老朽化した園舎の全面的リニューアル工事を行っています。

調布学園の次の100年をめざし、地域の皆さまとの一層の連携強化をはかり、新たなステージへと成長を続けます。

<地域交流棟 概要>

2階建て

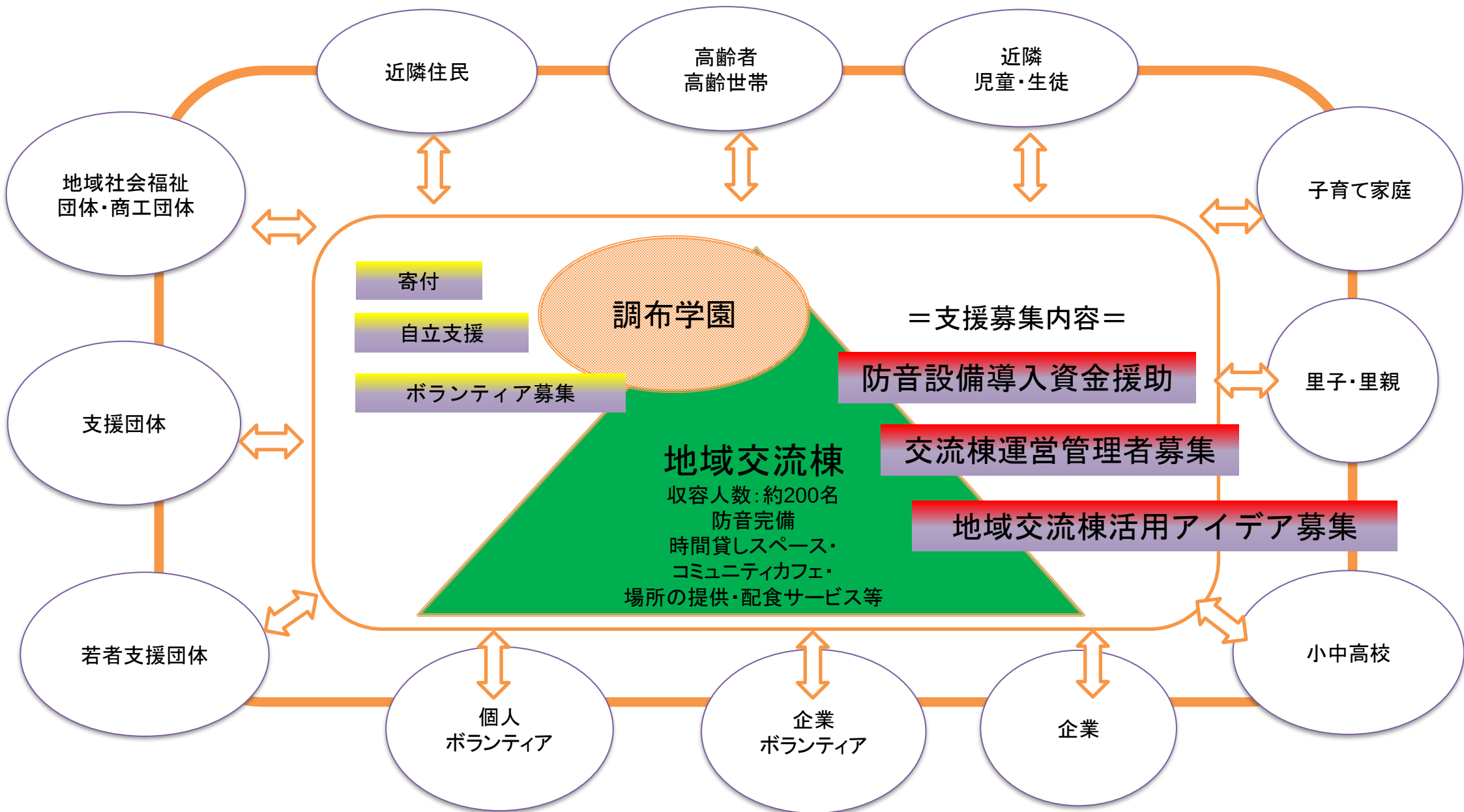
1階は会議室等で最大200人が収容できる広さ(195㎡)。

空いている時間は地域や外部への貸し出し(予定)



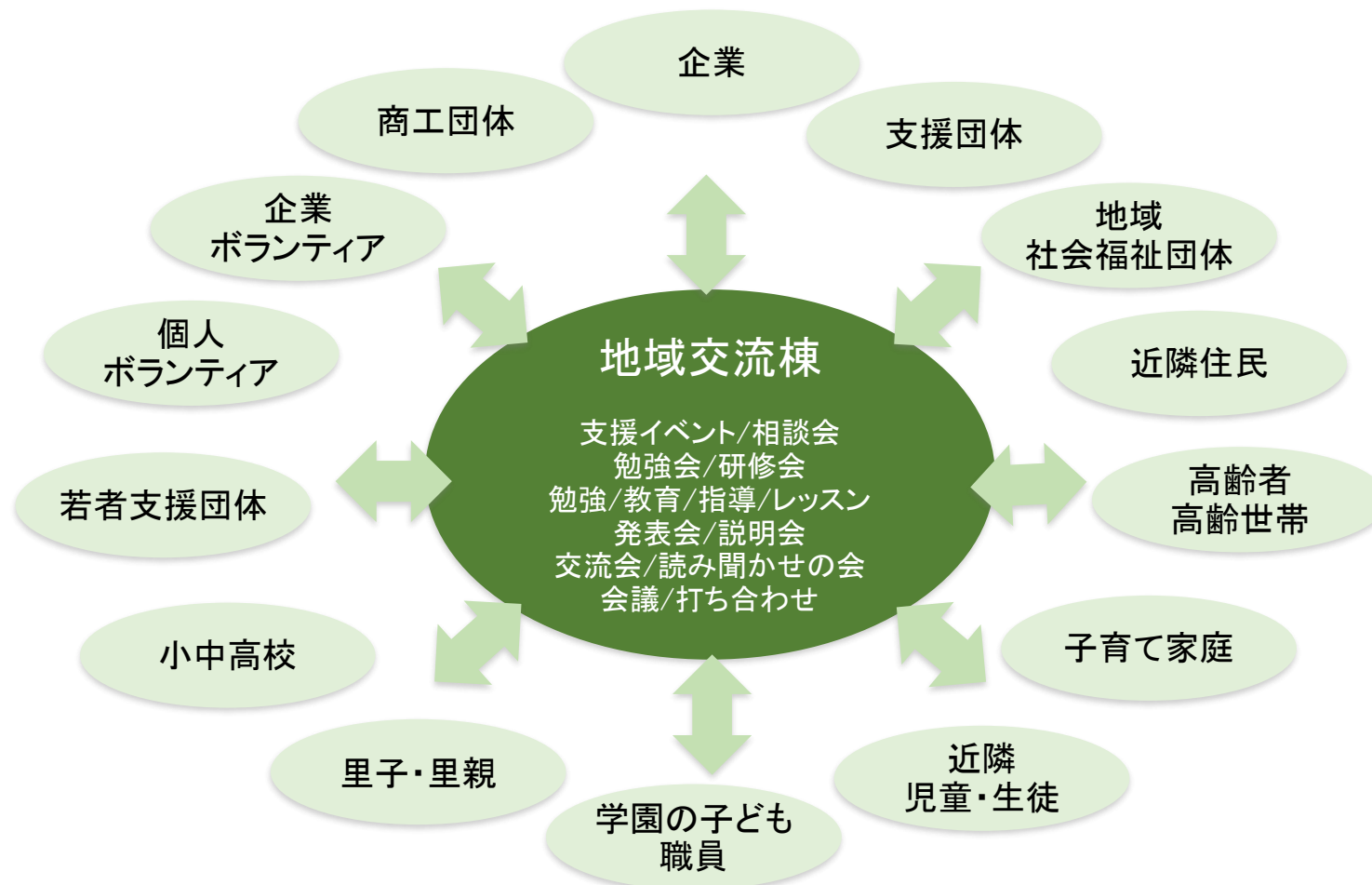
地域交流棟を中心に、地域の方々同士が新たにつながりを作る
交流・支援・学びの場として活用します。

そのために、**あなたの力を求めています。**



地域の皆さまと共に 地域交流棟を起点として

- 調布学園では、建物の全面的リニューアルに伴い、地域交流棟を新設します
- 地域交流棟の新設を契機に、学園と地域のみなさまとのつながりを一層深めてまいります
- 地域交流棟は、学園関係者にとどまらず、地域の様々な方々同士が新たにつながりを作る交流の場・支援の場・学びの場として活用していただく予定です



地域の企業・各種団体のみなさまへ 地域交流棟を是非ご活用ください

地域交流棟をいろいろな人に、いろいろな用途で使ってもらうことで、地域に貢献していきたいと考えています。



時間貸しスペース

- ・楽器の練習の場
- ・ダンス練習やカラオケ
- ・PTAなどの会議場所

地域の方が気軽に無料で活用してもらえる場所を提供。



コミュニティカフェ

- ・地域の方のおしゃべりの場
- ・情報交換スペース
- ・フリーマーケット

子育て世代だけではなく、地域の独居高齢者等々、地域のどなたでも気軽に立ち寄れる空間を提供。



場所の提供

- ・子ども食堂
- ・子育てサロン
- ・学習支援

「やりたい事があっても場所がない…」など場所を必要としている方々に場所を提供。



配食サービス・食堂

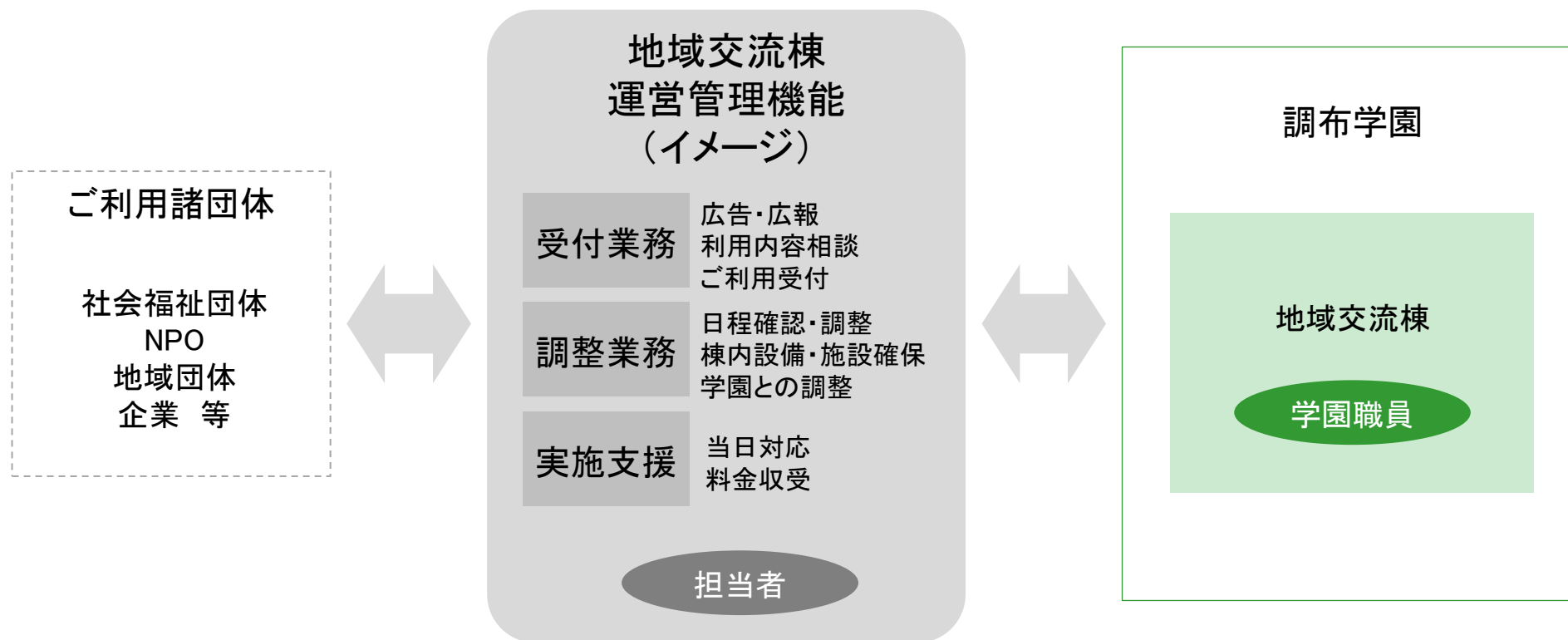
- ・高齢者に栄養のあるバランスのとれた食事を提供

学園が大切にしてきた栄養のあるバランスのとれた食事を高齢者に提供。

地域交流棟の活用方策を是非ご提案ください。

地域の企業・各種団体のみなさまへ 地域交流棟の運営管理にご協力ください

地域交流棟を多くの方々に円滑に使っていただくため、運営管理体制の構築が必須です。
運営管理機能の実現に協力ください。



地域交流棟の運営管理へのご協力、担当者費用の支援を求めています。

企業のみなさまへ 地域交流棟の防音設備導入に向けた支援をお願いします

新しくできる地域交流棟に防音設備を入れることで、周りの住民に迷惑をかけることなく、たくさんの利用目的で使っていただくことができます。

防音設備を入れることでできること

- ・楽器の練習
- ・ダンスの練習やカラオケ
- ・舞台の練習、大声での発声



地域交流棟でできることが増え
たくさんの人のニーズに応えることができる



防音設備の導入には500万円の費用がかかりますが、公的な助成がありません。
地域交流棟への防音設備導入に向けた支援を求めています。(目標:2020年末まで)

企業みなさまへ 学園の子ども達の進路にご助言ください

子どもたちが健全に成長し、
自らが希望する進路を選択できるよう
企業様のお立場からの
ご支援を期待しております



学園の子どもたちへの教育活動

- ・学習支援
- ・生活指導・食育指導
- ・職業に関する教育
- ・進路相談

企業様がお持ちのリソースで調布学園の活動をご支援ください

- ・職業や職業人に関する指導のご支援
- ・企業様等がお持ちのコンテンツの提供
- ・進路指導・就職に関するご支援
- ・実施をお手伝いいただける人材の派遣

調布学園の子どもたちが健全に成長し、円滑に社会に巣立つことができるよう、
各種の研修・進路指導・職業体験・就労支援へのご協力をお願いします

近隣のみなさまへ 子どもたちの暮らしのサポートをお願いします

調布学園の職員との役割分担のもと、子どもたちの暮らしと学びをより豊かにするため、地域の皆さまのお力添えをお願いしております。



地域のみなさまのボランティア参加をお願いします

- ・学習支援
- ・遊び支援
- ・不登校の児童の見守り
- ・家事援助
- ・園内整備、清掃等
- ・運転補助

調布学園の子どもたちの暮らしと学びの充実のため、
地域の皆さまの一層のサポートをお願いします。

xx. 調布学園のSDGsへの取り組み

- 調布学園は子どもたちのために尽くし、地域に貢献することを通じ、SDGs達成へ取り組んでいきます。

